

## 北海道介護職員初任者研修実施に基づく情報公開

研修機関情報	法人情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人格・法人名称・住所等 学校法人 日本医療大学 札幌市清田区真栄 434 番地 1</li> <li>● 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 理事長 対馬 徳昭</li> <li>● 教育事業を実施している場合・事業概要 ・日本医療大学                      ・専門学校 日本福祉学院 ・生涯学習センター</li> </ul>
	研修機関情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所名称・住所等 生涯学習センター 札幌市豊平区月寒西 2 条 5 丁目 1-2</li> <li>● 理念 法令等の定めるところに従い、地域における介護サービスが必要な方への増大かつ多様化するニーズに対応し、適切な介護サービスを提供するための必要な知識及び技能を有する福祉社会に役立つ心豊かな人材の育成を図ることを目的とする。</li> <li>● 学則 ※別紙「規定」参照</li> <li>● 研修施設、設備 介護ベッド、車いす、歩行用杖、ポータブルトイレ、他介護用品</li> </ul>
	研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象 一般</li> <li>● 研修のスケジュール（期間、日程、時間数） ※募集案内参照 1 コース 2 2 日間（1 3 2 時間）</li> <li>● 定員（集合研修、実習）と指導者数 定員 1 5 名 指導者数 30 名</li> <li>● 研修受講までの流れ（募集、申し込み） 募集→受講申込み→受講仮決定通知送付→受講料納付→受講決定通知送付→研修開始</li> <li>● 費用 5 万円</li> <li>● 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 介護福祉士養成課程で長く教育に携わっている講師や現場の豊富な経験を持つ講師等、多彩な講師陣が講義を担当することで、受講者が、介護の奥深さや魅力を理解することができる。また、1 人 1 人が、より実践に結びつけて考えることができるよう丁寧な指導を心がける。</li> </ul>

課程責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課程編成責任者名 対馬輝美（学校法人日本医療大学 生涯学習センター長）</li> </ul>																												
研修カリキュラム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 80%;">科目名</th> <th style="width: 15%;">研修時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">規定</td> <td>1. 職務の理解（講義）</td> <td style="text-align: center;">6 時間</td> </tr> <tr> <td>2. 介護における尊厳の保持・自立支援（講義）</td> <td style="text-align: center;">9 時間</td> </tr> <tr> <td>3. 介護の基本（講義）</td> <td style="text-align: center;">6 時間</td> </tr> <tr> <td>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（講義）</td> <td style="text-align: center;">9 時間</td> </tr> <tr> <td>5. 介護におけるコミュニケーション技術（講義・実習）</td> <td style="text-align: center;">6 時間</td> </tr> <tr> <td>6. 老化の理解（講義）</td> <td style="text-align: center;">6 時間</td> </tr> <tr> <td>7. 認知症の理解（講義）</td> <td style="text-align: center;">6 時間</td> </tr> <tr> <td>8. 障害の理解（講義）</td> <td style="text-align: center;">3 時間</td> </tr> <tr> <td>9. こころとからだのしくみと生活支援技術（講義・演習・実習）</td> <td style="text-align: center;">75 時間</td> </tr> <tr> <td>10. 振り返り（講義）</td> <td style="text-align: center;">4 時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">130 時間</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 科目別シラバス ※別紙「シラバス」参照</li> <li>● 科目別時間数 ※別紙「シラバス」参照</li> <li>● 科目別担当教官名 ※別紙「シラバス」参照</li> <li>● 科目別特徴 ※別紙「シラバス」参照</li> <li>● 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 出欠確認</li> <li>(2) 修了認定 <ul style="list-style-type: none"> <li>①全課程修了後に修了テストを実施。</li> <li>②評価はA（80%以上）、B（60%～79%）、C（60%未満）の3段階とし、B以上の評価を必須とする。 C評価の場合は補習・再試験。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>			科目名	研修時間	規定	1. 職務の理解（講義）	6 時間	2. 介護における尊厳の保持・自立支援（講義）	9 時間	3. 介護の基本（講義）	6 時間	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（講義）	9 時間	5. 介護におけるコミュニケーション技術（講義・実習）	6 時間	6. 老化の理解（講義）	6 時間	7. 認知症の理解（講義）	6 時間	8. 障害の理解（講義）	3 時間	9. こころとからだのしくみと生活支援技術（講義・演習・実習）	75 時間	10. 振り返り（講義）	4 時間		合 計	130 時間
	科目名	研修時間																											
規定	1. 職務の理解（講義）	6 時間																											
	2. 介護における尊厳の保持・自立支援（講義）	9 時間																											
	3. 介護の基本（講義）	6 時間																											
	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（講義）	9 時間																											
	5. 介護におけるコミュニケーション技術（講義・実習）	6 時間																											
	6. 老化の理解（講義）	6 時間																											
	7. 認知症の理解（講義）	6 時間																											
	8. 障害の理解（講義）	3 時間																											
	9. こころとからだのしくみと生活支援技術（講義・演習・実習）	75 時間																											
	10. 振り返り（講義）	4 時間																											
	合 計	130 時間																											
講師情報	※別紙「講師一覧」参照																												

実績情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去の研修実施回数（年度ごと） <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 1回（8月）</li> <li>・平成27年度 6回（5月、7月、9月、11月、1月、2月）</li> <li>・平成28年度 6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）</li> <li>・平成29年度 4回（5月、8月、11月、2月）</li> <li>・平成30年度 4回（4月、7月、10月、2月）</li> </ul> </li> <li>● 過去の研修延べ参加人数（年度ごと） <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度受講者実績 9名</li> <li>・平成27年度受講者実績 53名</li> <li>・平成28年度受講者実績 53名</li> <li>・平成29年度受講者実績 35名</li> <li>・平成30年度受講者実績 36名</li> </ul> </li> </ul>
連絡先等	<p>学校法人日本医療大学 生涯学習センター 初任者研修事務局  電話 011-827-7217 FAX 011-827-7062  苦情対応者：学校法人日本医療大学 生涯学習センター 山谷里希子</p>
質を向上させるための取り組み	<p>研修生満足度調査情報（アンケート、研修生の声など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各コース修了時、アンケートをとり、要望意見等を次回開講に活かす アンケート用紙は学内回覧、講師にも紹介する</li> </ul> <p>&lt;例&gt;</p> <p>①印象に残った講義・講師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解で、自分の持っていたイメージと大きく違って驚いた。一般的なイメージや偏見から言われていることがあるが、きちんと学ぶことが大切だと強く思った。</li> <li>・まひのある人を介助する時に、立つ場所、支える場所、手の向きなどお互いに楽で負担のかからない方法が学べて、リウマチの母にも使って行けるので良かった。</li> <li>・生活支援技術で、骨・関節・筋肉の働きについて学び、体の動きのメカニズムについて理解できた。</li> <li>・生活支援技術では事業所に戻りすぐに実践できる内容で、わかりやすく指導してもらえた。一人一人に向き合ってくれた。わかりやすかった。</li> <li>・講師の体験談がとても参考になった。講師の人間性を感じる講義だった。</li> <li>・講師から介護職に対する情熱を感じた。</li> </ul> <p>②全体を通して意見・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を話し合ったり、他の人の意見を聞いたりして楽しく学べた。</li> <li>・介護という概念が変わり、きつい汚いという悪いイメージから、人としての尊厳の大切さや1人1人個々に考えていかなければいけないことがわかった。</li> <li>・もっと実技の時間があっても良いと思った</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・事業所に求められる役割を自覚し、根拠のある介護をしていきたい。</li><li>・1人1人個別の支援をしていくので、臨機応変、柔軟さも求められるが、それが自身のスキルアップに繋がると感じた。一生懸命頑張りたいと思える22日間だった。</li><li>・この研修で学んだことを忘れることなく職場でのチームワークを大切にしたい。</li><li>・もっとテスト対策をしてほしい</li><li>・これからもたくさんの研修に参加して経験を大切にしていきたい。</li></ul> |
|--|---|